

大手前通りに温もりを ～居心地の良い空間づくりに挑戦～

<作品の要旨>

コロナ禍で寂しくなってしまった姫路駅と姫路城を繋ぐ大手前通りを温かくすることを目的に、利用状況を把握・分析し、どういう空間が求められているのかを導き出しました。そして、より多くの人に好まれる空間を実際につくり出し検証しました。取り組みから得た発見や課題を活かして大手前通りがより愛されるようになるためにはどうすれば良いのかを提案しています。

<感想>

一般の方を対象とした取り組みも初めてで、分からないことばかりでしたが多くの方に助けていただき、またとない貴重な体験をすることができました。この取り組みをこの様なかたちで評価していただくことができ、自信にも繋がりました。

本当にありがとうございました。

姫路市立姫路高等学校 香西美咲



審査員からのコメント

本作品は、姫路城と姫路駅を結ぶ大手前通りに焦点を当て、この通りが抱える問題点や課題について、高校生をターゲットにし、その課題解決策について議論している。本作品では、大手前通りを居心地のよい空間にするため、滞在時間の延伸に注目し、地元のステークホルダーが実施する社会実験に参加することで、自身が立てた仮説を検証している。また、実際に大手前通りで実践した活動はもとより、仮説の設定、アンケート調査、ワークショップの開催から解決の糸口を見つけ出すという、実践に至るまでのプロセスが高く評価された。今後はターゲットを一般の観光客にすることで、この通りが抱える課題が解決されることが期待される。

